

SAMPLE

特集レポート No. 038

ペット関連市場のハイエンド商品・サービスの動向

Strictly Confidential

 Info Mart Corporation

2017年 6月28日

はじめに

- 2000年代後半ごろからペットの飼育頭数は減少傾向にあり、ペットフードの出荷量も減少を続けている。しかし一方で、出荷額は増加しており、高価格化が進んでいる
- 少子高齢化が進み、ペットを家族の一員として扱う「コンパニオンアニマル」の価値観が広がっており、ペットフードに限らずペット用品や各種ペット関連サービスにおいても、飼い主がペットにかかる費用は年々増加している
- 本レポートでは、こうしたペットの「コンパニオンアニマル化」の流れを踏まえ、ペット関連市場に登場しているハイエンド商品・サービスの動向を探る

本資料の流れ



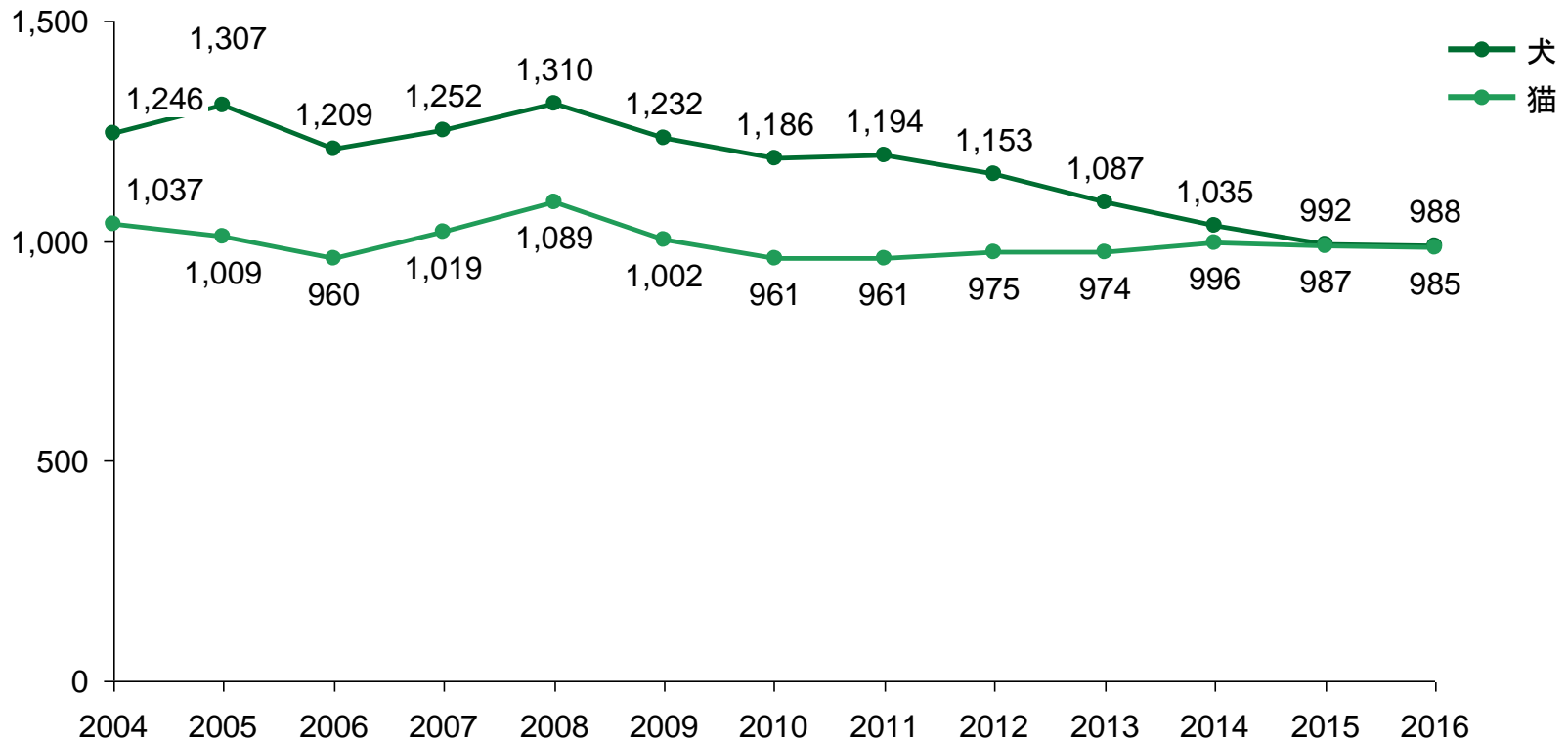
- I. ペット関連市場の概要
- II. ペット関連市場のハイエンド商品・サービスの紹介
- III. 今後の動向

犬の飼育頭数が減少

- 猫の飼育頭数は横ばいで推移しているのに対し、犬の飼育頭数は減少を続けている
 - 犬の方が猫よりも飼育費用や世話の手間がかかることに加え、ペットの「小型化」、「室内飼育化」のトレンドが進んでいることが要因

犬と猫の飼育頭数推移

(単位: 万頭)



犬・猫の飼育場所

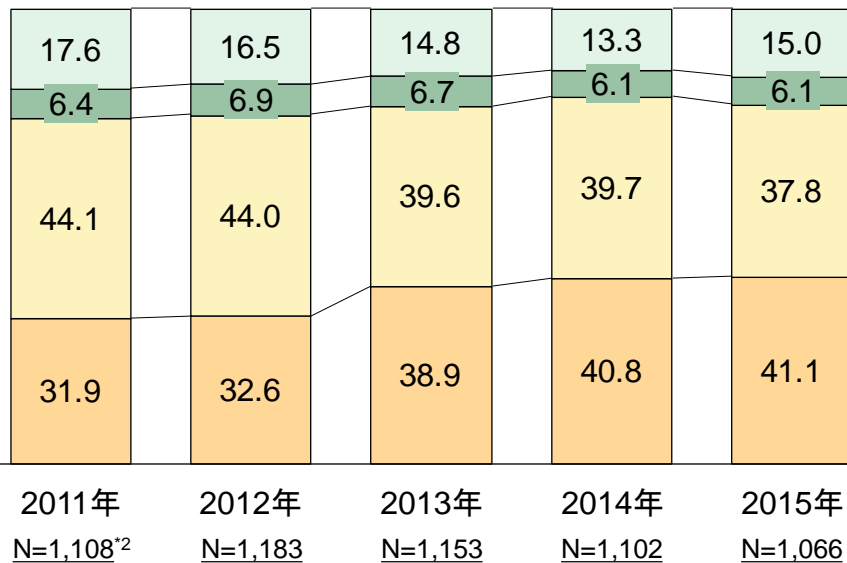
- 室内のみで飼育される犬の割合は増加傾向で、2015年時点で約8割程度
- 室内で飼育される猫の割合は横ばいで推移

犬・猫の飼育場所

■ 室内のみ
 ■ 散歩・外出時以外は室内
 ■ 室内・屋外半々
 ■ 主に屋外

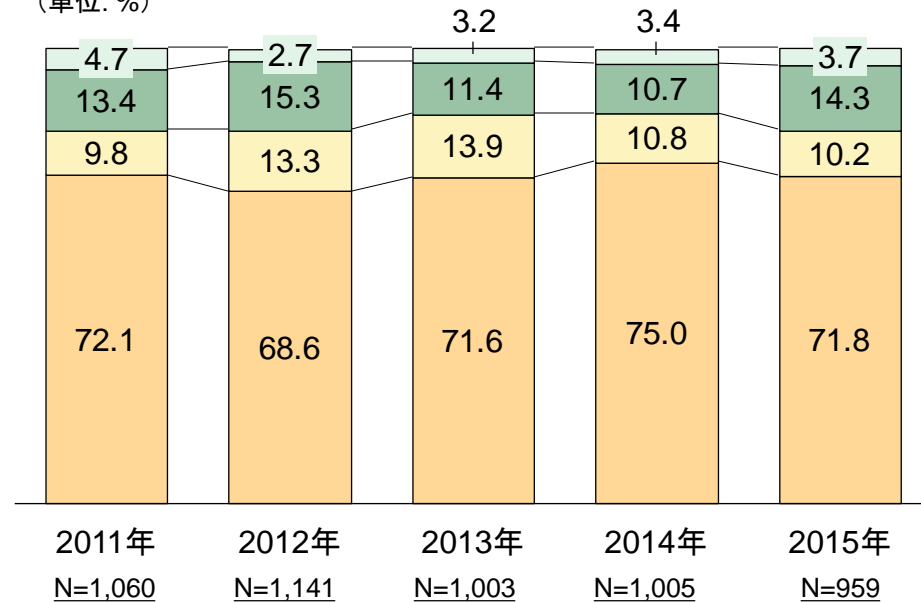
犬の飼育場所

(単位: %)



猫*1の飼育場所

(単位: %)



注: *1. 外猫を飼育している回答者を除く

*2. Nは回答資格のある者の合計を指す

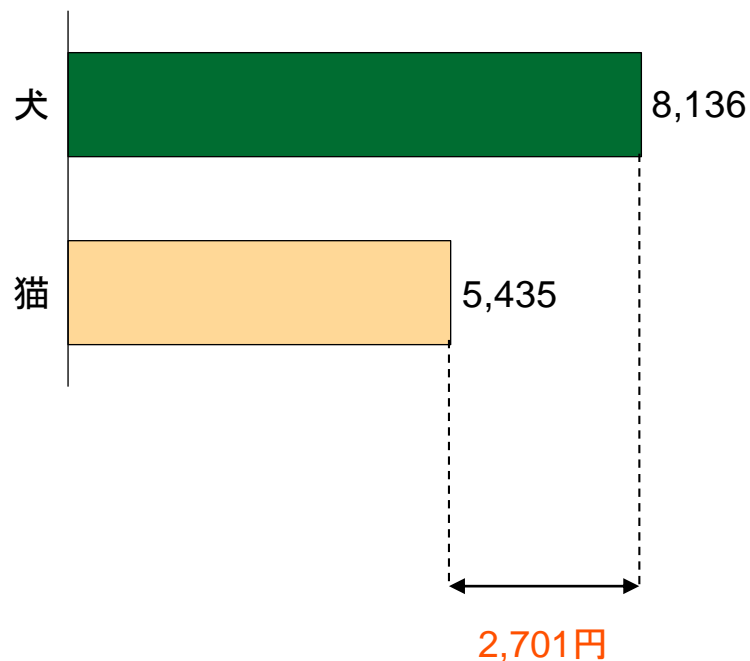
出所: 全国ペットフード協会「平成27年 全国犬猫飼育実態調査」2016年

ペット飼育のトレンド

- 犬の方が猫より一カ月当たり2,700円程度飼育費用がかかる
- 犬を室内で飼育する割合は増加傾向、猫は横ばい

犬・猫の1ヵ月あたりの平均飼育費用(2016年)

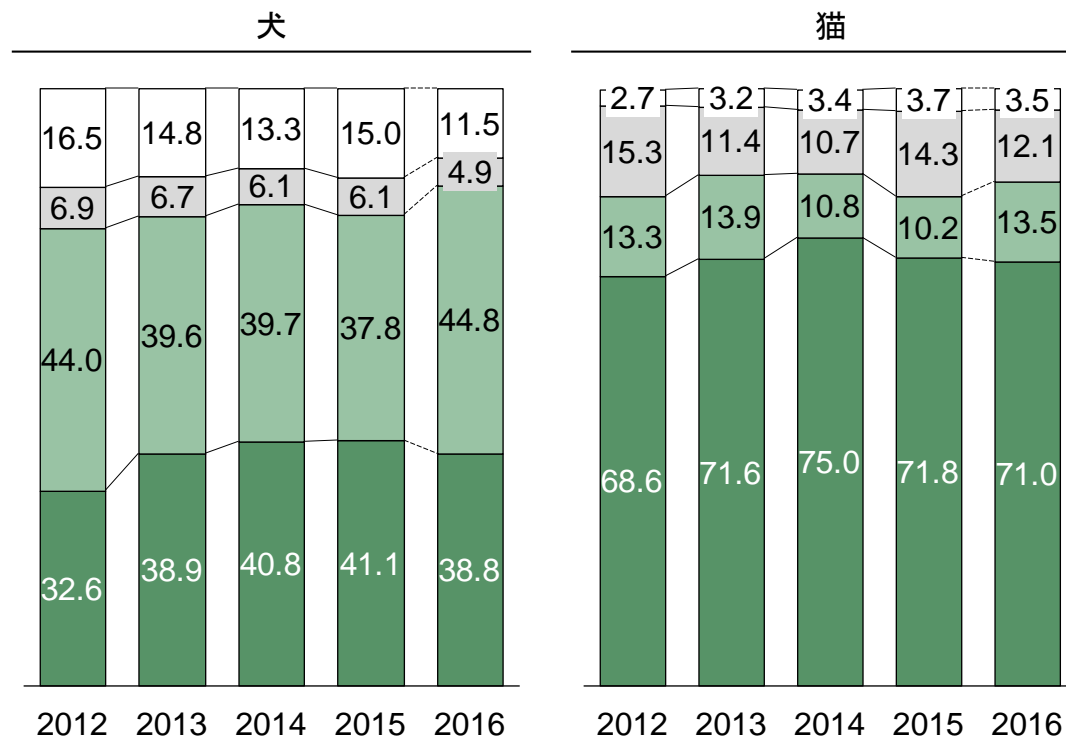
(単位: 円)



犬・猫の飼育場所の割合の推移

(単位: %)

- 室内のみ
- 室内・屋外半々
- 散歩・外出時以外は室内
- 主に屋外



出所: 一般社団法人 ペットフード協会「全国犬猫飼育実態調査」

SAMPLE版はここまでです。

続きは、業界チャンネル 特集レポート にてご覧ください。

特集レポート一覧はこちら ▶

“業界チャンネル 特集レポート”とは、

経営コンサルタントの目線で特に伸びているビジネスに注目して分析。
その成功の鍵や今後に言及し、「打ち手」を導出します。

